

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)だより

令和5年12月

☆寄贈品展を開催します

舞鶴市郷土資料館は市民の皆様から資料の寄贈を受けています。どれも郷土の歴史を語る貴重な資料です。今回は3月まで3期にわたってテーマを設定し、近年寄贈を受けた資料と館の収蔵品を使い、企画展を開催いたします。第1期は「舞鶴の酒屋とその周辺」、第2期は「田辺藩の秀才達」、第3期は「舞鶴の礎—田辺藩—」です。

第1期 「舞鶴の酒屋とその周辺」 期間:令和5年11月7日(火)~12月17日(日)

第1期の展示は「舞鶴の酒屋とその周辺」と題し、白屋・長内地区や寺内町での酒造・酒屋とその近所の資料。そして、明治時代の地籍図などを中心に紹介いたします。



白屋・長内地区の絵地図(明治6年(1873)ごろ)



寺内町内会仮装行列写真(大正4年(1915))

第2期 「田辺藩の秀才達」 期間:令和5年12月19日(火)~令和6年2月4日(日)

第2期は、加藤美代三(画家:豊岡出身)が描いた、かつての藩校 明倫館の「門」の絵画や、肥前佐賀藩にて製錬方として蒸気船や電信機を研究した田辺藩出身の石黒貫二に関連するガラス製品などで田辺藩出身の明治時代に活躍した人々を紹介します。



加藤美代三画「門」



石黒貫二関連佐賀精錬社のガラス製品

第3期 「舞鶴の礎-田辺藩-」 期間:令和6年2月6日(火)~3月17日(日)

サロンスペースも各期で展示替えをおこないます。第1期は「切山古墳出土遺物」と戦前の写真・絵葉書などを紹介します。第2期は天然記念物「オオミズナギドリ」の繁殖地「冠島」での現在まで続く継続的な鳥類調査のために尽力した吉田直敏氏に関する品々を紹介します。

今月の展示解説「舞鶴のみほとけたち」 日時：12月17日(日)13:30～14:30

今月の展示解説は「舞鶴のみほとけたち」です。舞鶴には国宝「普賢延命像」を所蔵する松尾寺だけでなく、重要文化財を所蔵する金剛院や円隆寺など多くの古刹があります。舞鶴ふるさと発見館ではこれらをパネルで紹介していますが、今回の展示解説では仏像の魅力について語ります。

場所：舞鶴ふるさと発見館展示室（展示室入場のために入館料が必要です。）



☆今月の糸井文庫

糸井文庫コーナーでは毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。今月は「浮世絵の中の寺」です。展示解説「舞鶴のみほとけたち」に合わせて、浮世絵に画かれた寺院を展示します。松尾寺・成相寺・南禅寺・浦島寺が描かれていました。

お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

（受付時間 9:00～16:30）

TEL0773-75-8836・FAX:0773-77-1314

住所：舞鶴市字南田辺1番地

（西総合会館1F北側）

展示室入場料：大人 100 円、市外学生 50 円

サロンスペース：無料

休館日：4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・

年末年始 12月29日(金)～1月3日(水)

